

NetComさがと佐賀大学

佐賀大学 近藤弘樹

前史 1

- 1988 理工学部情報科学科設置
- 1988 佐賀県教育センター講座講師(近藤)
その後県教育委員会各種委員会に参加
- 1989 JUNETに参加
- 1990 JAINに参加、IP接続
- 1992 九州地域研究ネットワーク(KARRN)設立
- 1993.3 佐賀地域ネットワーク研究会開催
- 1994 「グローバル・クラスルーム・プロジェクト」実践研究 2000年10月～2001年3月
- 1994 佐賀県教育情報システム”EDU-QUAKEさが”稼働
- 県内の学校からダイヤルアップ接続可能に

前史 2

- 1991 株式会社佐銀ベンチャーキャピタル設立
- 1997 年度 佐賀ベンチャービジネスフォーラム(8回)
- 1998 理工学部寄附講座(VB講座) 設置
「ベンチャービジネス支援先端技術講座」
- 1998 佐賀大学ベンチャー・ビジネス・ラボラトリ設置
前佐賀銀行会長 田中 稔氏の寄与

NetComさがと佐賀大学 1

- 1998 NetComさが推進事業開始
- 実験期間:1998.4～2001.3
- スポンサー:佐賀県(商工労働部)、原資は電力移出県等
交付金(資源エネルギー庁)
- JGNに参加 NOCはNetComさが
- 2000.9 鳳雛塾:遠隔授業(JGN経由) 2000年10月～2001年3月
- 2001 「佐賀県新地域情報化推進計画」
- 新地域情報化推進計画&電子県庁基本計画 2001年4月～2002年3月
- 2001 佐賀研究ネットワーク提起、後整備 2001年4月～2002年3月
- 2001～スリランカ医療プロジェクト支援
- 佐賀医科大学と佐賀大学の共同研究

NetComさがと佐賀大学 2

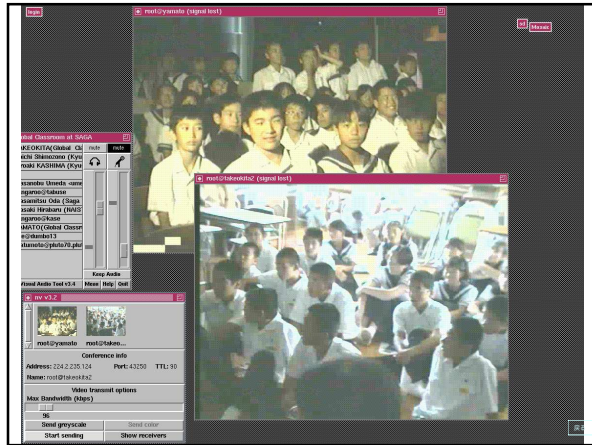
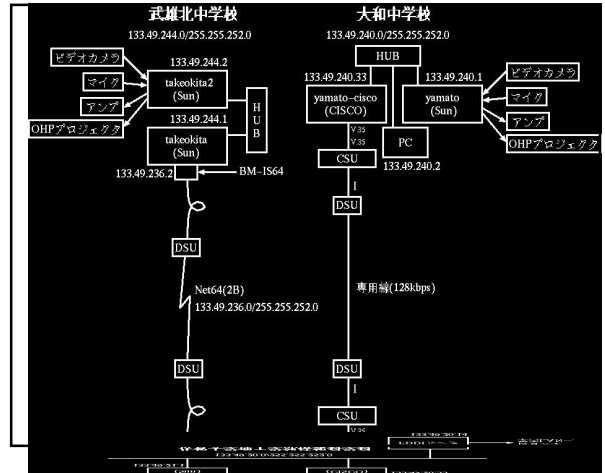
- 2001 「IPv6情報家電実証実験委託研究」の実施
- 通信・放送機構
- 「工業高校におけるIPv6を用いたロボット遠隔操作の実証実験」
- 2003～2005「工業系高校におけるIPv6を用いたユビキタスネット社会実験研究」 2003年4月～2005年3月
- :「佐賀県教育委員会と佐賀大学とが連携して推進」

コメント

- これまで:ネットワークインフラ構築推進に寄与
- インターネットの可能性を提示してきた
- 研究になるように努力
- これから(?):
- 審議会、委員会の声が掛からない:現在
提言しない
- NetComさがの廃止を含めた再検討の提案あり

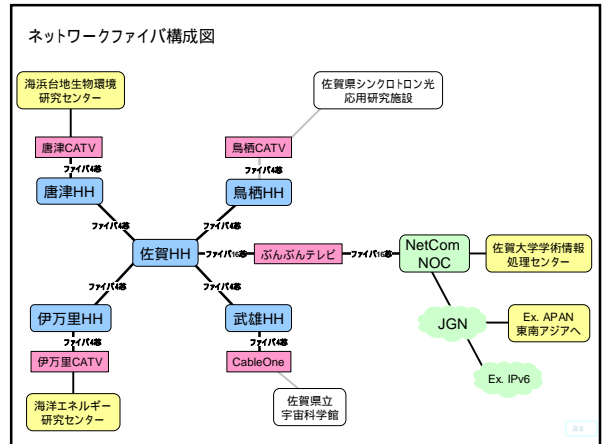
グローバル・クラスルーム・プロジェクト

- マルチメディアが可能になったインターネット
初等中等教育への利用可能性の実証研究
- 佐賀県下の2つの中学校を接続
 - 大和町立大和中学校
 - 武雄市立武雄北中学校
- 1994年7月12日(火) ~ 15日(金)



JGNによる遠隔講義

- JGN
 - NetComさがにアクセスポイント(九州 - 4)
- DVTSとNetMeeting
- 参加組織
 - 慶応ビジネススクール
 - 慶応大学湘南藤沢キャンパス
 - 佐賀大学
 - スタンフォード大学
- 「革新企業の戦略分析」
 - 國領二郎教授(慶應義塾大学) コーディネート
<http://www soi.wide.ad.jp/class/cgi/class_top.cgi?20000008>



u-Japanに向けて全国へのフィールドの拡大と情報端末の多様化を行う
工業系高等学校等に於けるIPv6を用いたユビキタス社会実験研究の展開

佐賀大学 広島大学 広島市立大学
深谷大学 大分大学 群馬大学
山梨県立大学 札幌医科大学

工業系高等学校などの生徒自身が IPv6 ネットワークを利用して、情報家電を含む様々な情報端末がユビキタス社会の中で具体的にどのように役立つかを、自ら情報端末を作成し実証的に開発研究を行う。次世代を担う若者が次世代ネットワークに直接取り組み、自分たちが生きる新しい社会の姿を自分たちで創り出す。

